



Press Release

(一社) 島田市観光協会 プレスリリース

2023年1月4日

「しまだ大井川マラソンinリバティ」来訪客アンケート調査報告 来場者の4割が初参加・初来場！

【ここがニュース！】

島田市観光協会・しまだ大井川マラソンinリバティ実行委員会は、初の試みとして「しまだ大井川マラソンinリバティ」にて来場者WEBアンケートを実施しました。

【調査概要】

調査期間：2023年10月29日（日）～11月4日（土）（7日間）

調査対象：大井川マラソンランナー、来場者（サンプル数1,617人（ランナー94%、その他6%））

調査方法：大井川マラソンランナー配布物の中にアンケートを封入、観光案内ブースにてアンケートの呼びかけを実施。自身のスマートフォンからQRコードを読み取り、WEBフォームから回答を得た。

【来場者数／来場者の居住地別割合／男女比】

来場者数は全体で19,000人。内訳としては、ランナー（出走者数）フル5,340人、10km1,507人、ボランティア1,600人、その他来場者10,553人であった。来場者数の居住地割合は、県内客が64%。県外客は36%、県外客の属性では、愛知県が18%と最も多い。遠方からは、北海道（7件）からの来場者もあり、静岡空港の就航先からの来場者も見受けられた。また、72%が男性、28%が女性という構成になった。

【幅広い年代が参加】

40代が29%、50代が33%と、40代50代が6割を占める。30代13%、20代7%という構成になった。

【4割が初参加（来場）！】

全体の41%が初めて参加（来場）されたという結果で、次に5回以上23%、2回目18%、3回目10%、4回目7%という構成になった。

【イベント期間内の消費総額は1.1億円】

一人当たりの消費額の全体平均は6,159円で、居住地別では県内が一人当たり2,520円、県外が一人あたり12,560円となった。行程別では、日帰りの場合は2,913円、島田市内の宿泊施設を利用した場合は15,458円、島田市外の宿泊施設を利用した場合に16,226円、2泊以上した場合に25,333円となった。消費単価にそれぞれ的人数を掛け合わせた、消費総額（推計値）は1.1億円となった。

【NPSは28.8／参加者の推奨度は参加（来場）回数5回目以上が一番高い】

NPSの算出方法に準じて、回答者を「批判者（0～6点）」「中立（7～8点）」「推奨者（9～10点）」に整理し、他の設問の回答内容を比較した。参加回数と推奨度を比較した結果、5回以上の参加者、及び初めての参加者の満足度が高い事が分かった。推奨者（9～10点）の割合から批判者（0～6点）の割合を差し引いたNPS（Net Promoter Score）は28.8となった。

【宿泊施設の稼働状況】

市内宿泊施設にイベント前後の稼働率について調査した。回答を得た5施設の宿泊稼働率の平均は以下のとおりで、大会前日が一番高い稼働率となった。また、前々日、当日の稼働率も80%前後となった。

	27日	28日	29日	30日	31日
日付	マラソン大会 前々日	マラソン大会 前日	マラソン大会 当日	マラソン大会 1日後	マラソン大会 2日後
稼働率	74.80%	96.60%	80.50%	64.70%	50.80%

【次回に向けて】

おもてなし券（500円）があるにもかかわらず、県内から来られるランナーの約5割（全体では4割弱）がどこにも寄っていないことがわかった。大会への出場（来訪）回数が初めてと回答した割合が41%と高かったことから、おもてなし券の認知不足が原因として考えられるため、より使ってもらえるような施策を検討する。例えば、大会時に利用できなかった方に大会後に使っていただくようにECサイト等で土産や大エイドステーションで提供したフルーツやお菓子を販売し、その際におもてなし券を利用できる仕組みを構築できれば、大会後の“旅アト消費”につなげることができる。

担当：島田市観光協会（0547-46-2844）
島田市役所観光課（0547-36-7399）

担当からひと言：今回、本イベントで初めて来訪客調査を実施しました。これまで見えてこなかった来訪者の属性や消費額等、有効なデータを得ることができました。今回のアンケートを踏まえ、見えてきた課題について次回のマラソン大会で一つでも多く、改善できるように取り組んでまいります。